

T-トップ-ヘビー

2015年モデル

OCEANSOUTH
 AUSTRALIA

MA080-4

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

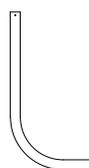
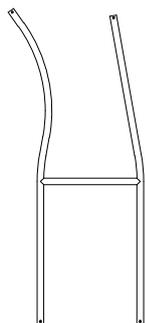
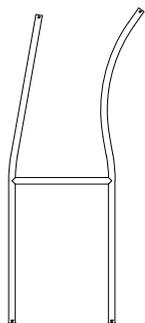
本紙では、「T-トップ-ヘビー(以下、本製品)」の組立方法と設置方法について説明しています。

本紙をよくお読みになり本製品をポートへ設置し、安全にご使用ください。

部品リスト

()内が各部品の数量です。

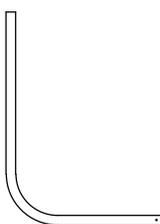
サイドフレームR(1) サイドフレームL(1) フロントコーナーフレームR(1) フロントコーナーフレームL(1) クロスバー(2)



トップフレームサイド(2)



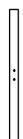
リアコーナーフレームR(1)



リアコーナーフレームL(1)



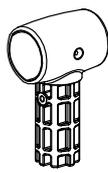
コネクタパイプ(2)



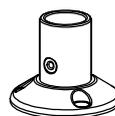
サイドバー570mm(2)



T-ジョイントN(12)



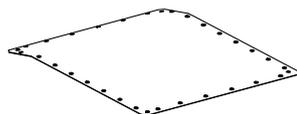
ベースマウントN(4)



サイドマウントN(4)



ホロ(1)



紐(1)



タッピングビスM4x20(4)



ドリルビス(12)



タッピングビス小(4)



タッピングビス大(16)



必要工具

下記の工具はお客様の方でご準備ください。

- (+)ドライバー
- 六角レンチ(サイズ5)
- ソケットレンチ(サイズ13)
- 電動ドリル
- ドリル刃(Φ9、Φ3.5、Φ5.5、Φ6.5)
- ベースマウント固定用ボルト(12本)
※M6タッピングビスでは強度的に弱い可能性がありますのでボルト・ナット・ワッシャーで固定する事をおすすめします。
- パイプカッター(パイプを切断する場合)

※本製品には若干のゆがみがありますので、組立時は多少の力が必要になります。

安全上の注意（必ずお読みください。）

⚠ 注意

- * 本書に従って正しく取付をしてください。なお、本書の内容を守らなかった為の不具合・損害などにつきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- * 本製品はセンターコンソール艇用のオーニングです。センターコンソール艇以外への取付・使用した事による、破損・損害などについては、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- * 本製品を改造して取り付けした場合や、誤った取付による不具合・損害などにつきましては、保証の対象外となります。
- * 指定以外の部品を使用すると、事故や不具合の原因になる事があるため、必ず付属品や指定の部品を使用してください。
- * 本製品の組立・取付には専門技術と経験が必要です。作業は専門業者にて、複数人数で行ってください。
- * 作業を行う際は、作業に適したスペースを確保できる場所をお選び、周囲の安全を確認してください。
- * 作業は幼児のいない場所で行ってください。また、ネジなどの小物部品を乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。
- * 作業は必要に応じて、作業手袋・作業衣服・ヘルメット・保護メガネなどを着用の上、注意して行ってください。
- * 工具などを使用する際は、特に充分取扱いに注意してください。
- * 本製品は金属製です。頭や手、足など、人体の上に落とさないように充分注意してください。また、作業における全てのケガ・故障・破損などにつきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- * 付属品を無くさないよう注意してください。
- * パイプのカットや穴あけなど加工を行う際は、充分注意してください。一度加工されたパイプの交換はできません。
- * 使用頻度にかかわらず経年劣化による不具合が発生し、性能が低下することあります。予めご了承ください。
- * 本製品、及び付属品の仕様は改良の為に予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。

本製品はマリン仕様となっておりますが、長く・安全にご使用いただく為に、組立・取付時に防錆処理をおこなってください。

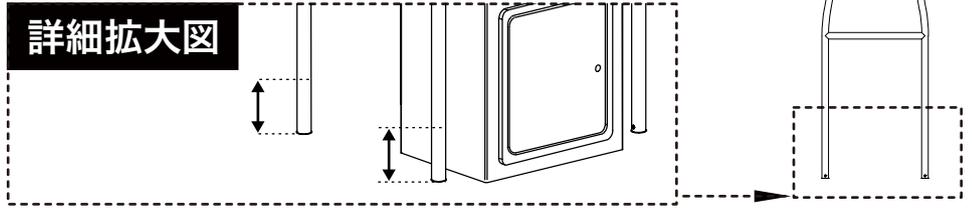
免責事項について

火災、地震、第三者による好意、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な状況下でのご使用による不具合・損傷・損害が生じた場合、保証の対象外となります。

高さ調節は組立・取付前に行ってください。

本製品はサイドフレームの下部を切断することで高さを調節することが出来ます。
サイドフレームをコンソールの横に立てて、ルーフを好みの高さに調節してください。

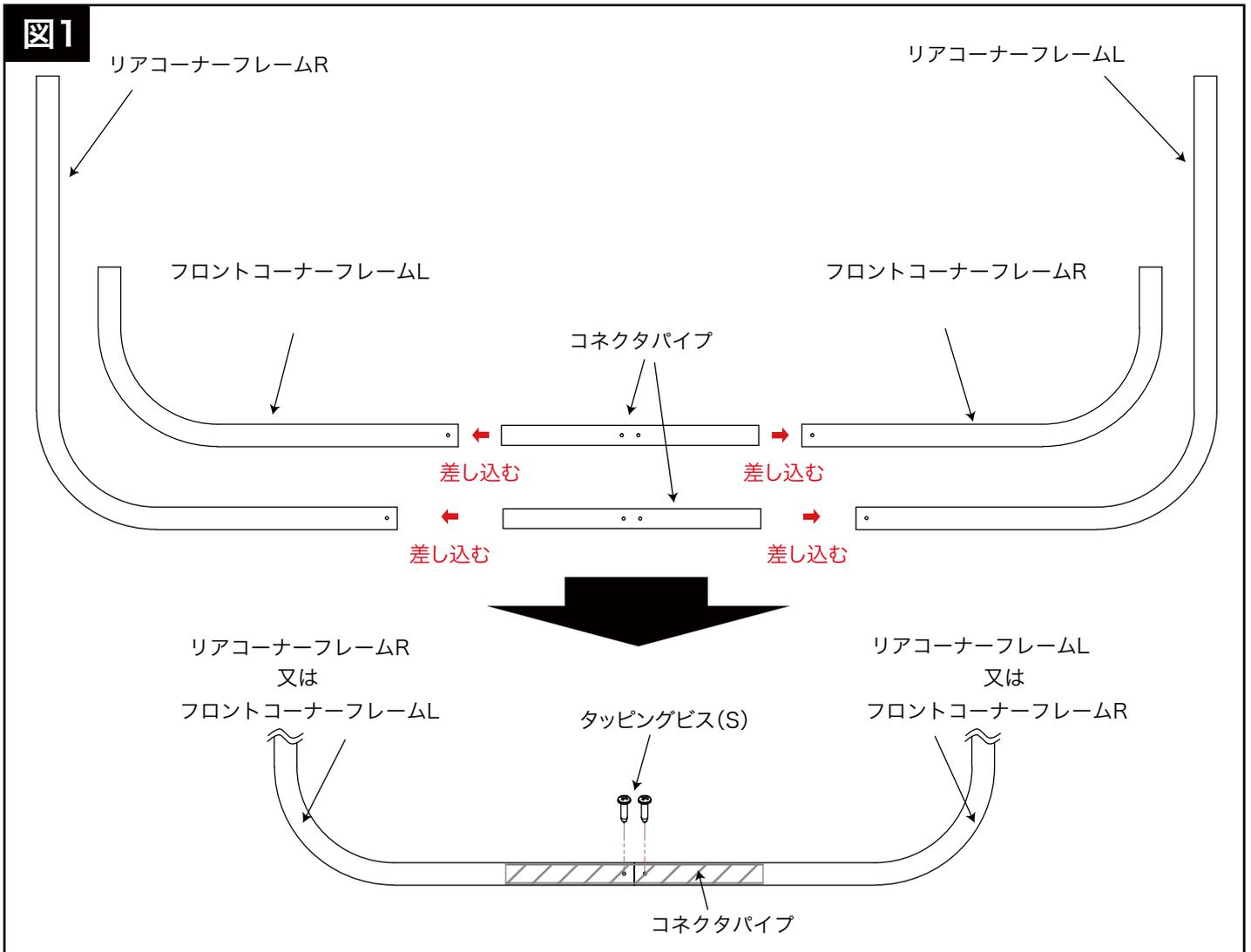
※ パイプを切断する際は、パイプカッターなどをご使用ください。



組立・取付方法

STEP.1 コーナーフレーム（フロント・リア）をそれぞれ組み立てる。

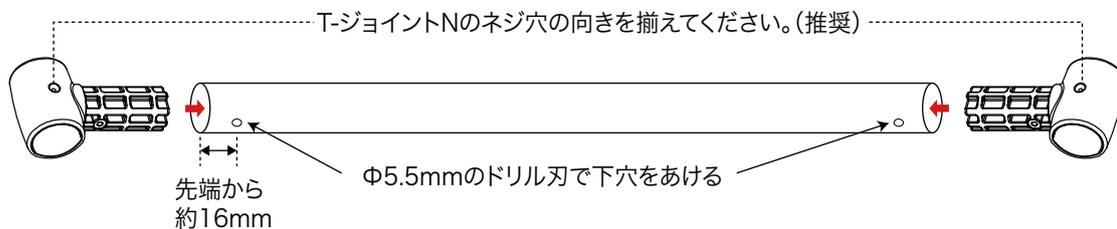
- フロントコーナーフレーム（R・L）とコネクタパイプを接続する。
 - ・ 図1のように、フロントコーナーフレーム（R）とフロントコーナーフレーム（L）の間にコネクタパイプを差し込んでください。
 - ・ 下穴の位置を合わせて、タッピングビス（S）で固定してください。
- フロントコーナーフレームと同様にリアコーナーフレーム（R・L）を接続する。
 - ・ 図1のように、リアコーナーフレーム（R）とリアコーナーフレーム（L）の間にコネクタパイプを差し込んでください。
 - ・ 下穴の位置を合わせて、タッピングビス（S）で固定してください。



STEP.2 サイドバーにT-ジョイントNを取付ける

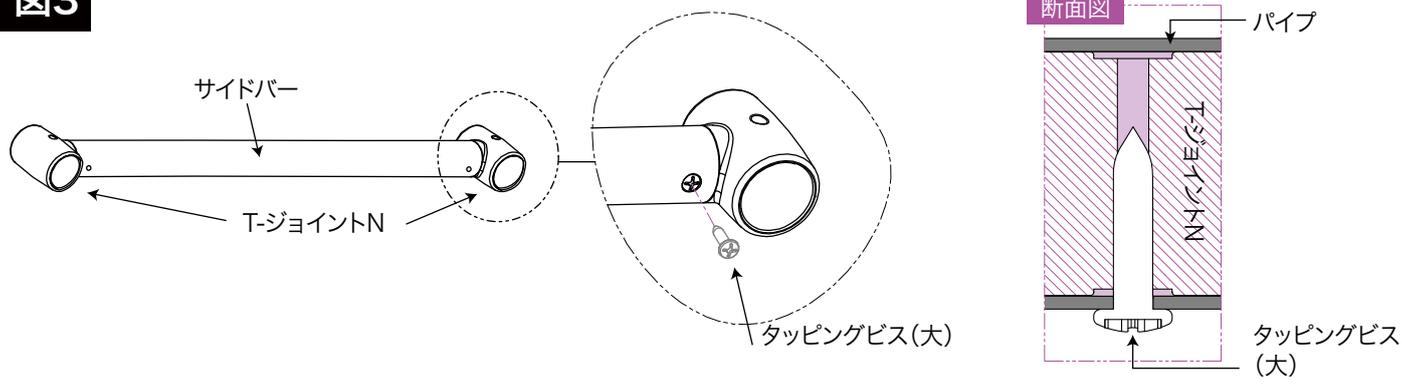
- T-ジョイントNのネジ穴の位置に合わせてサイドバーに下穴をあける。
 - ・ $\Phi 5.5\text{mm}$ のドリル刃を使用して、サイドバーに下穴を開けてください。
下穴はフレームを平置きしてフレームの端から約16mmの位置にあけてください。(図2参照)

図2



- T-ジョイントをサイドバーに差し込んでタッピングビス(大)で留めてください。
 - ・ 図3のようにT-ジョイントのネジ穴とサイドバーの下穴の位置を合わせてネジ留めしてください。

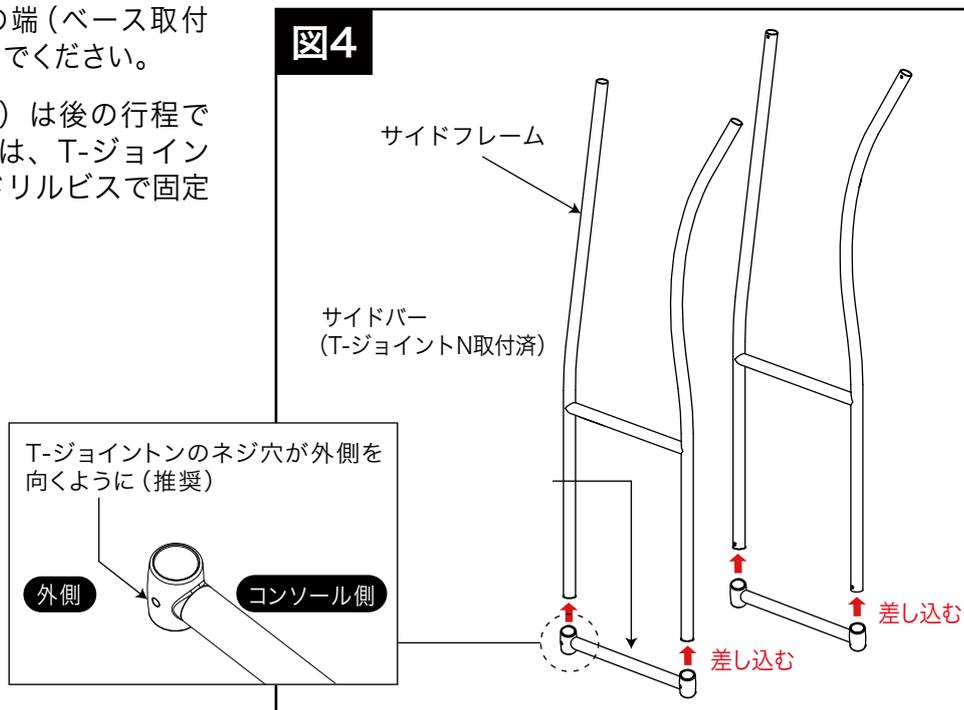
図3



STEP.3 STEP.2で組み立てたサイドバーをサイドフレーム(R・L)を差し込む

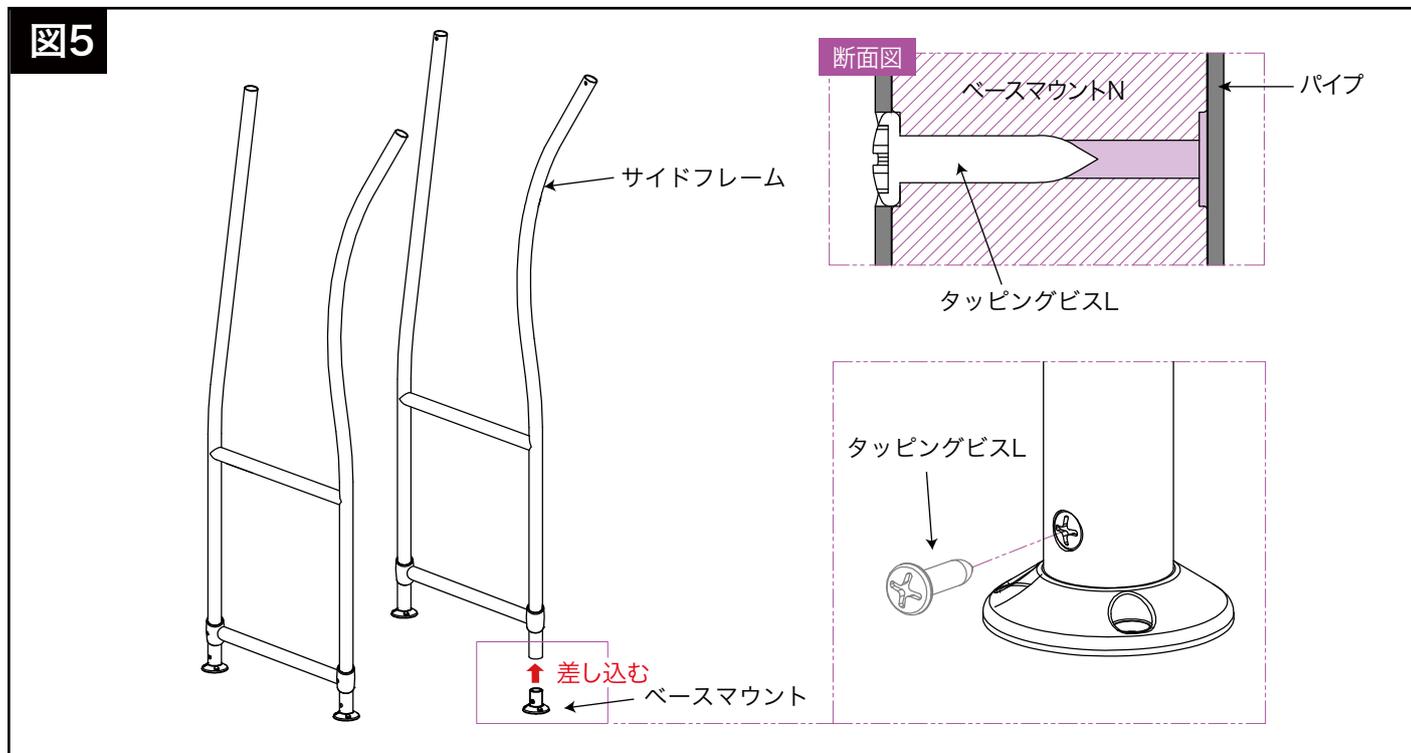
- 図4のようにサイドフレームの端(ベース取付側)からサイドバーを差し込んでください。
 - ・ サイドバーの位置(高さ)は後の行程で調節します。この行程では、T-ジョイントNとサイドフレームをドリルビスで固定しないでください。

図4



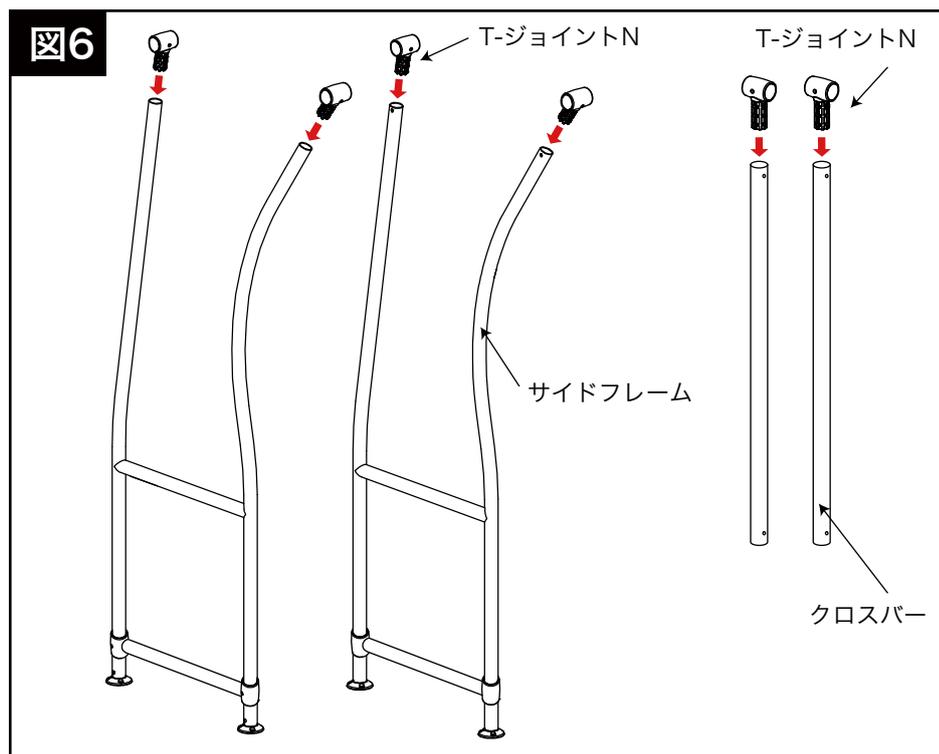
STEP.4 サイドフレームにベースマウントNを固定する。

- サイドフレームにベースマウントNを差し込む。
- サイドフレームとベースマウントNのネジ穴を合わせてタッピングビスLで留める。(図5参照)



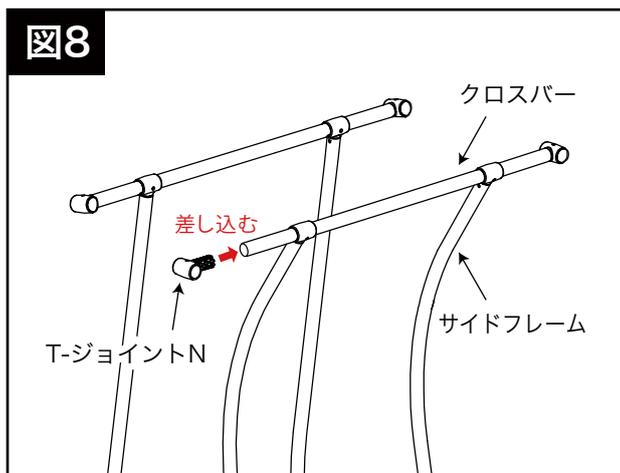
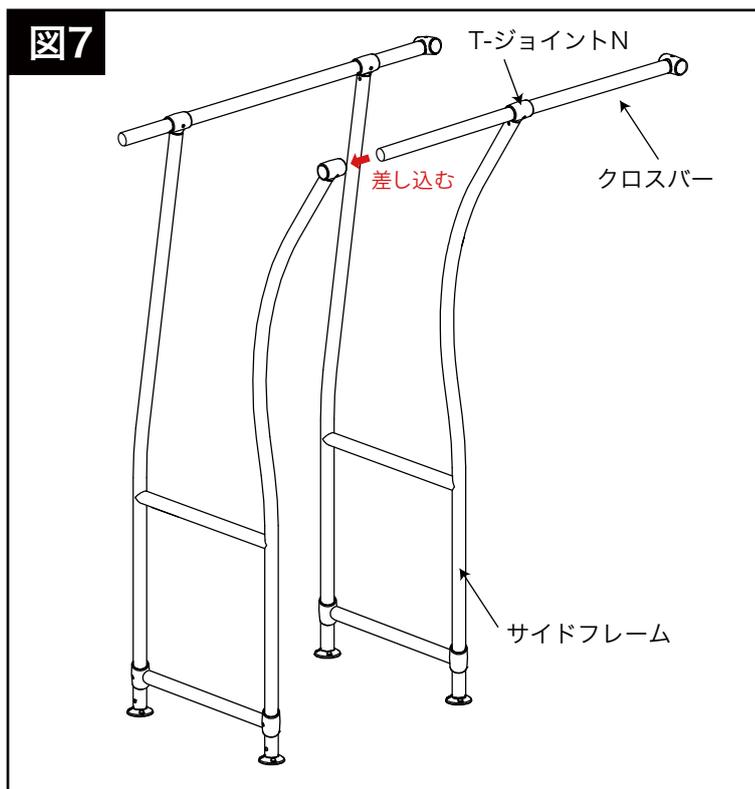
STEP.5 サイドフレームのトップ側にT-ジョイントNを差し込む。 クロスバーの片側にT-ジョイントNを差し込む。

- ネジ穴の位置を合わせて、T-ジョイントNをサイドフレームにしっかり奥まで差し込んでください。
- ネジ穴の位置を合わせて、T-ジョイントNをクロスバーの片側（任意）にしっかり奥まで差し込んでください。



STEP.6 サイドフレームとクロスバーを組み立てる。

- STEP.5で組み立てたサイドフレームのT-ジョイントNにクロスバーを差し込んでください。(図7参照)
- クロスバーの片側 (STEP.5でT-ジョイントNを差し込んでいない方) にT-ジョイントNを差し込んでください。(図8参照)

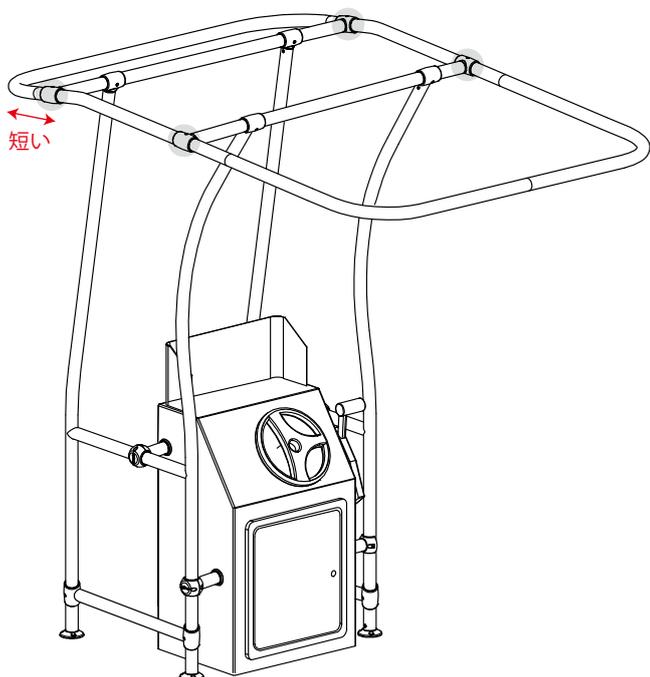


STEP.7 トップフレーム組み立てる。

- * トップフレームは前後に任意の位置で固定する事が可能です。(完成イメージ参照)
トップのフロント部分を短くする場合、または長くする場合によってトップフレームの組立方法が異なります。
取付位置に合わせた組立方法をご確認ください。

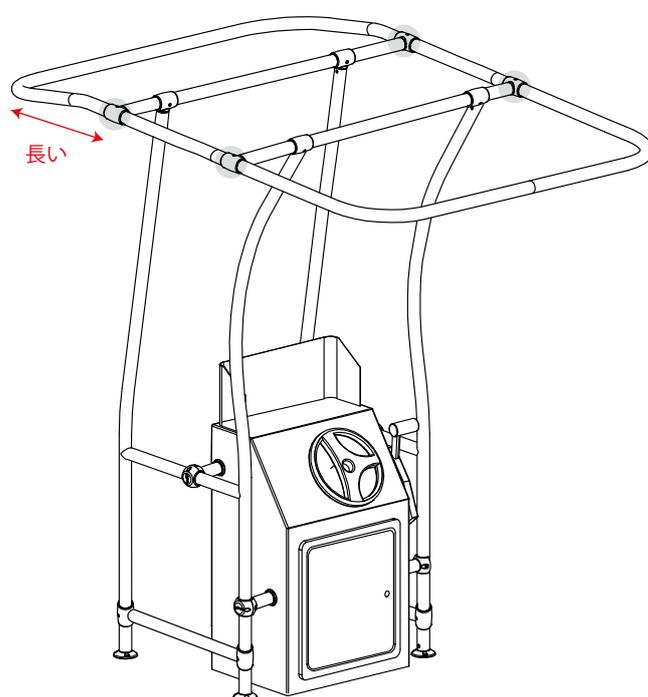
トップのフロント部分を短くしたい場合

完成イメージ



トップのフロント部分を長くしたい場合

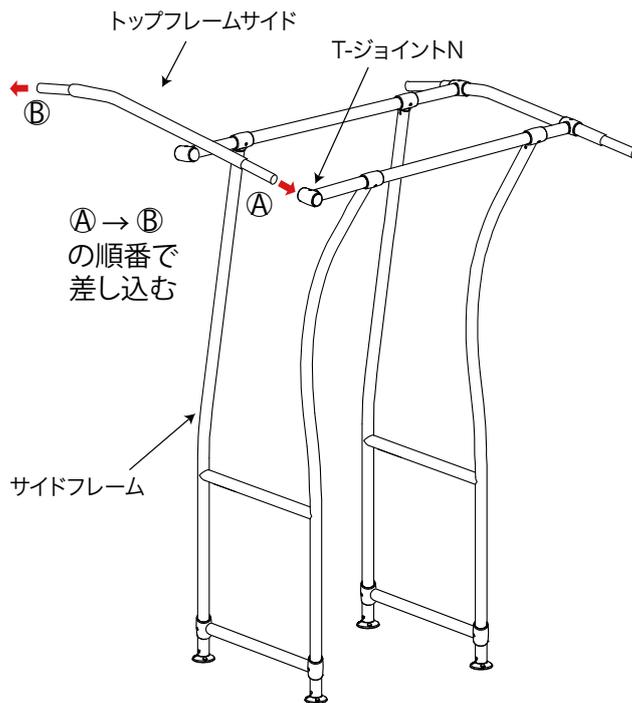
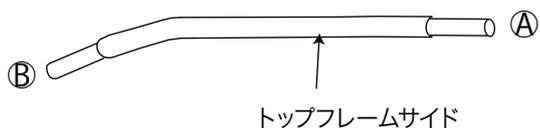
完成イメージ



STEP.7 のつづき

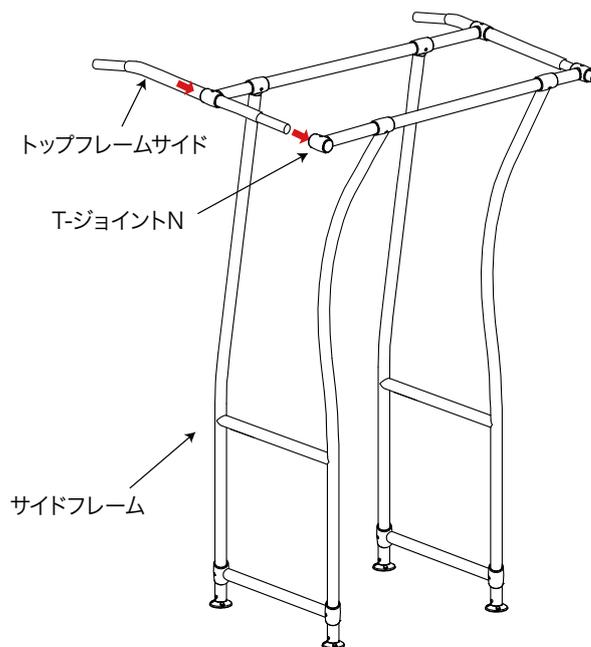
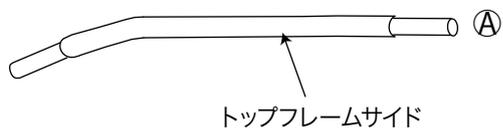
トップのフロント部分を短くしたい場合

- サイドフレームのリア側のT-ジョイントNにトップフレームサイドの ① 側を差し込み、次にトップ側のT-ジョイントNに ② 側を差し込んでください。



トップのフロント部分を長くしたい場合

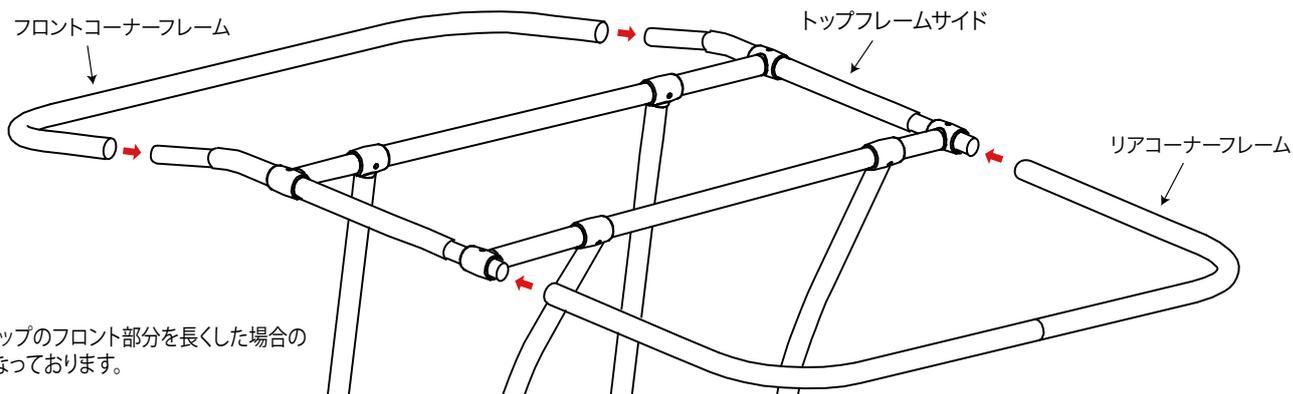
- サイドフレームのフロント側のT-ジョイントNからトップフレームサイドの ① 側を差し込んでください。



STEP.8 リアコーナーフレームとフロントコーナーフレームを トップフレームサイドに差し込む

- STEP.1で組み立てたリアコーナーフレームとフロントコーナーフレームをトップフレームサイドに差し込んでください。(図9参照)

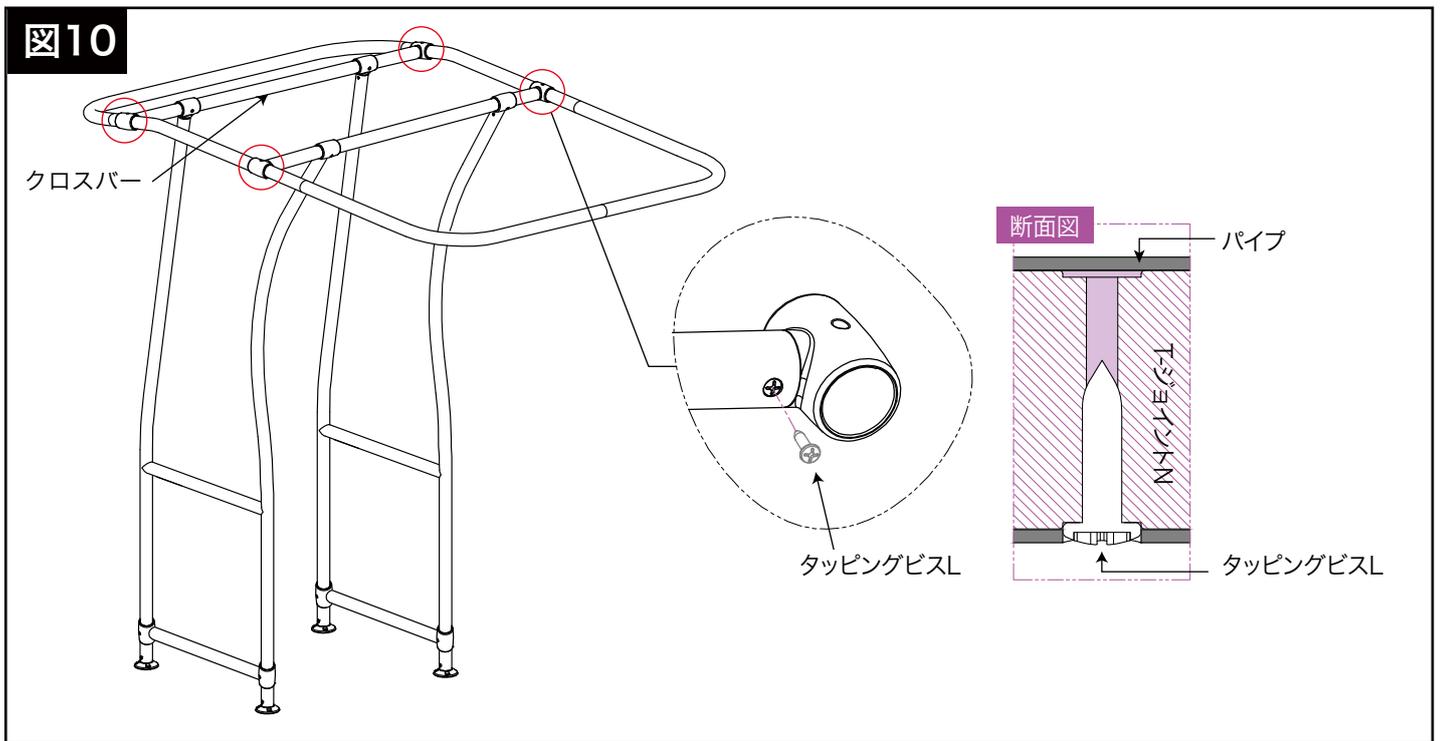
図9



※図9はトップのフロント部分を長くした場合のイラストとなっております。

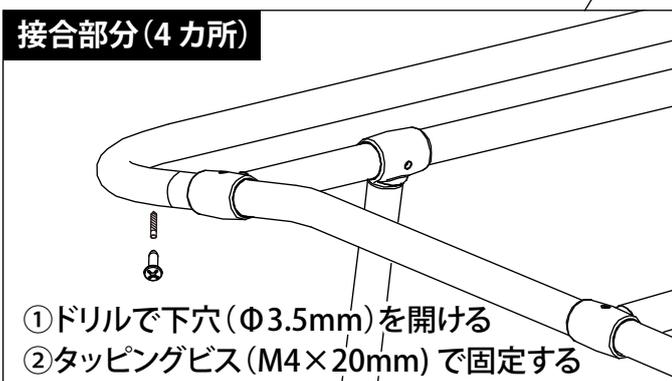
STEP.9 図10の赤丸のT-ジョイントNをネジで固定する。

- STEP.5とSTEP.6でクロスバーに差し込んだT-ジョイントN(図10の赤丸内)をタッピングビスLで固定してください。



STEP.10 T-トップヘビーの取付位置を確認し、トップ部分を固定する。

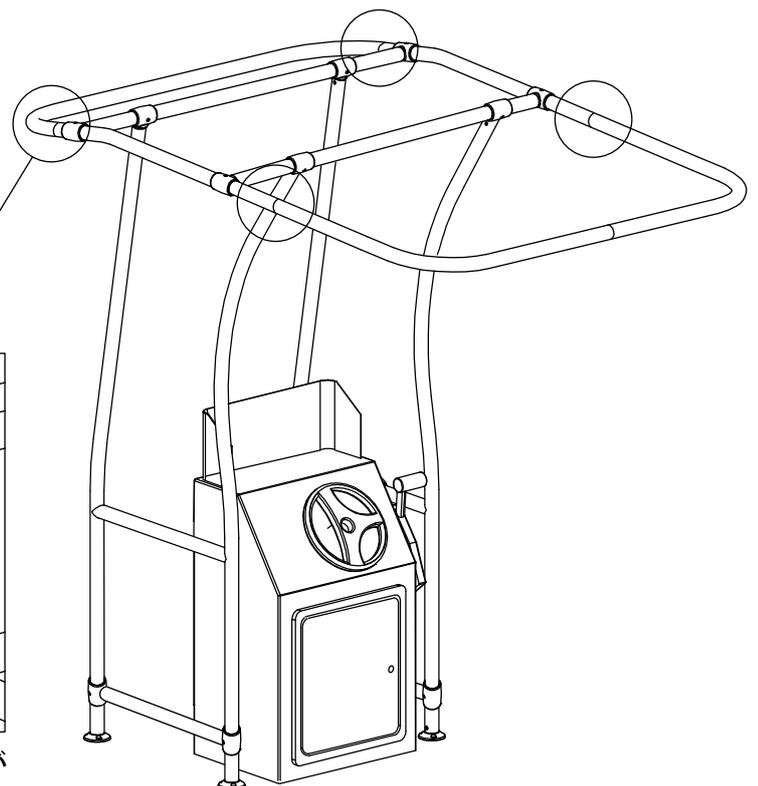
- STEP.9までで組み立てたT-トップヘビーを艇の取付位置に仮置きして、TOP部分の前後の位置を調節してください。
- トップフレームサイドと、フロントコーナーフレーム、リアコーナーフレームの接合部にΦ3.5mmのドリル刃を使用して下穴を開けてください。
- トップフレームサイドと、フロントコーナーフレーム、リアコーナーフレームの接合部をタッピングビス(M4×20mm)で固定してください。



- ①ドリルで下穴(Φ3.5mm)を開ける
- ②タッピングビス(M4×20mm)で固定する

※フレームの下側、または側面にタッピングビスのネジ頭がくるように留めてください。(推奨)

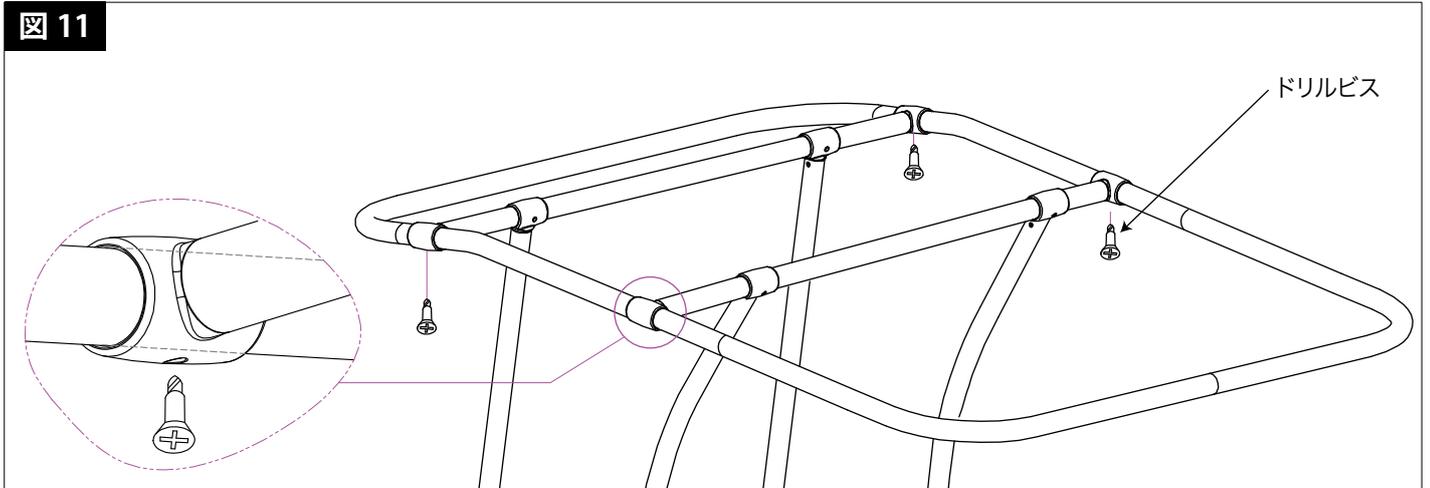
※必ずトップ部分の前後の位置を調節してから、タッピングビスで固定してください。
タッピングビスで固定した後はネジ頭が邪魔になるので前後の位置調整ができません。



STEP.11 クロスバーのT-ジョイントNとトップフレームサイドをドリルビスで固定する。

- 図11のようにドリルビスでT-ジョイントNとトップフレームサイドを固定してください。

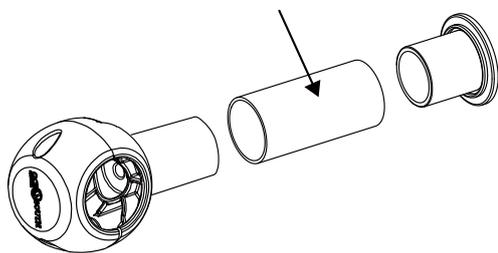
図 11



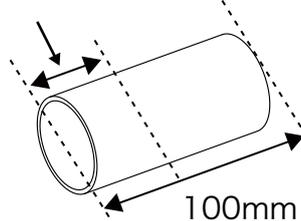
STEP.12 コンソール幅に合わせてサイドマウントのパイプを切断してください。

- サイドマウントのパイプを切断すれば、取付幅が1010mmまでコンソールに取付ける事が可能です。コンソール幅が940mm以下の場合には切断する必要ありません。
※サイドマウントスペーサーを切断する際は、パイプカッターなどをご使用ください。

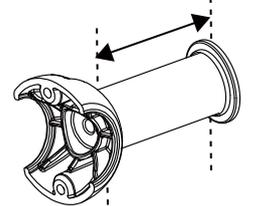
サイドマウントのパイプを切断する



(カット最大幅は20mm)



サイドフレーム内側から
コンソールまでの幅
85mm~105mm

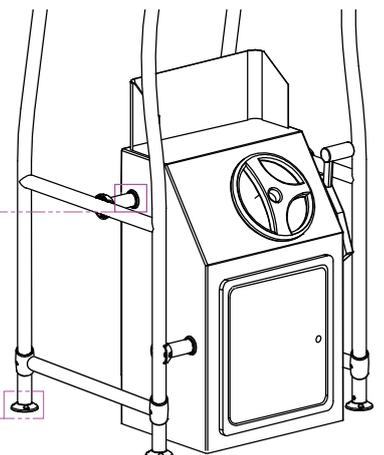
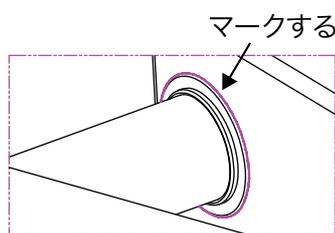
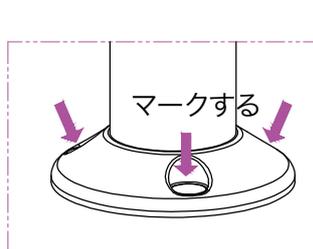
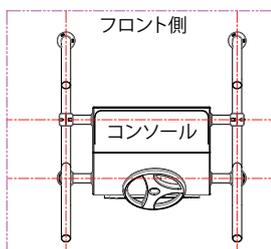


- ※1010mm以上の取付幅が必要な場合は、別売のサイドマウントベース(旧モデル品パーツ)をご使用ください。
サイドマウントベース(旧モデル品パーツ)は取付幅1050mmまでのコンソールに取付ける事が可能になるオプションパーツです。

STEP.13 サイドマウントとベースマウントの取付位置を決めてマーキングする。

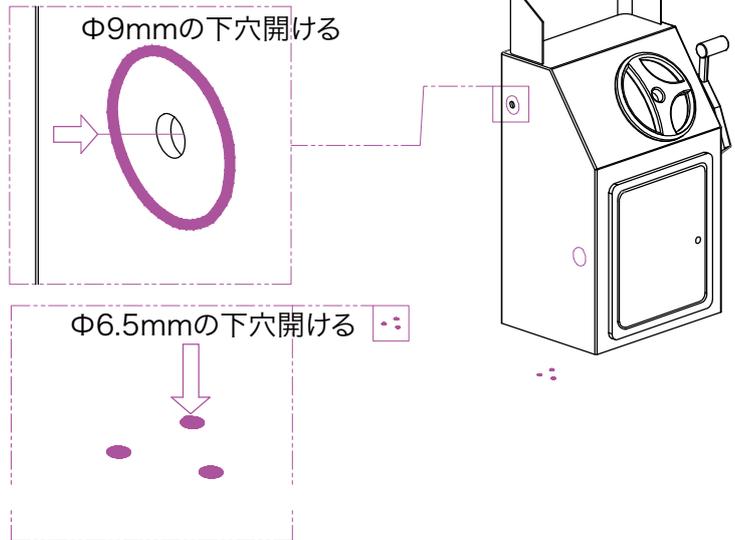
- サイドマウントの取付位置をコンソールにマークしてください。
同様に、ベースマウントのネジ穴の位置をマークしてください。

※フレームが互いに列をなして平行に配置されるようにしてください。



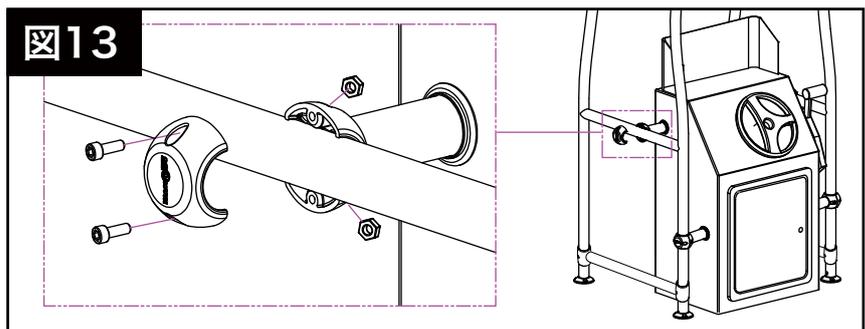
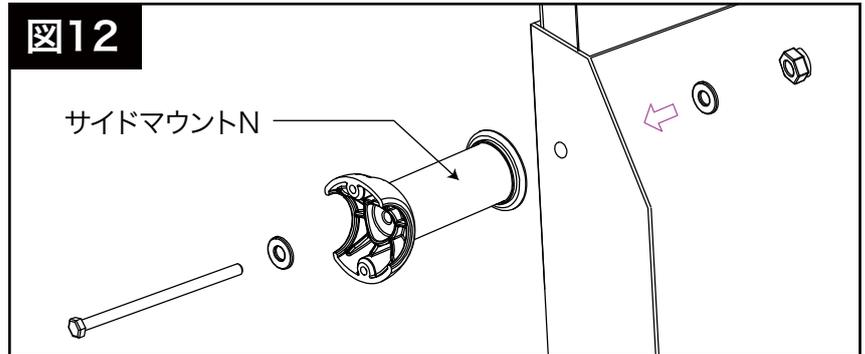
STEP.14 サイドマウントNとベースマウントNの下穴をあける。

- マークに合わせてコンソールにΦ9mmのドリル刃で下穴をあけてください。
※ サイドマウントベース(別売)を使用する場合は、さらにベース部ネジ穴用の下穴をあけてください。
- マークに合わせてベースマウントN用の下穴をあけてください。

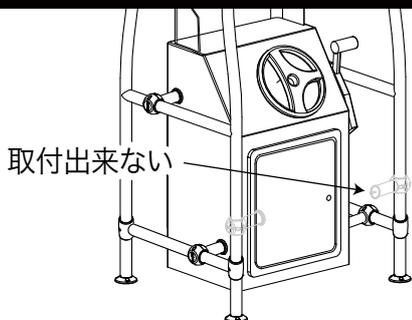


STEP.15 サイドマウントNとベースマウントNを固定する。

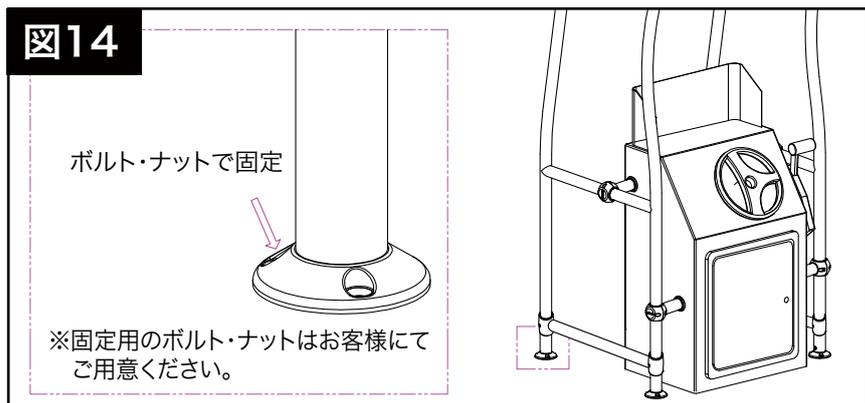
- サイドマウントNのヘッド部分を外して、付属のボルトナットでコンソールに固定してください。(図12参照)
※ 必要に応じて、コンソール内側にあて板をしてください。
- サイドマウントNをサイドフレームに固定してください。(図13参照)
- ベースマウントNにΦ6mmの穴があいています。お客様でご用意いただいたボルト・ナットで固定してください。(図14参照)
※ タッピングビスでの固定は強度的に弱い可能性がありますので、ボルト・ナット・ワッシャーで固定してください。(推奨)



サイドマウントNの取付位置について



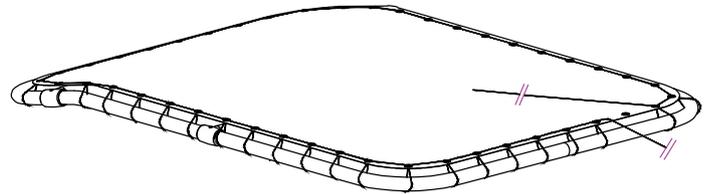
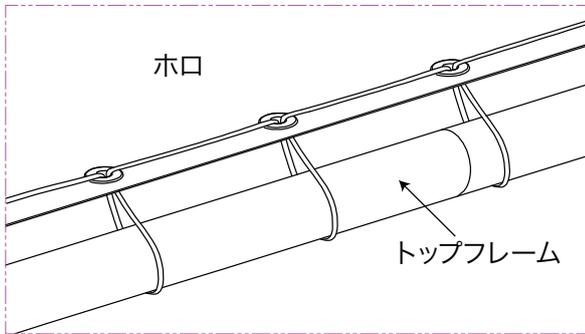
T-トップヘビーの設置位置によっては、サイドマウントNをスタンドフレームの縦パイプに取り付けると、コンソールに固定出来ない場合があります。その際はサイドバーにサイドマウントNを取り付けてください。



STEP.16 トップフレームにホ口を取り付ける。

- 図15のように、ホ口を紐でトップフレームに固定してください。

図15



STEP.17 スタンドフレームとトップフレームを接合しているT-ジョイントNを固定する。

- サイドフレームとT-ジョイントNのネジ穴を合わせてタッピングビスLで留める。(図15参照)
- T-ジョイントNとトップフレーム、サイドフレームをドリルビスで固定する。(図15参照)

図15

